



2017 ~ 2018 年度
R I テーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー: 変化をもたらす

国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー (国籍・オーストラリア)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテル別府パストラル 〒874-0036 別府市東荘園町1丁目4
TEL (0977) 23-4201 FAX 25-3610
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	佐々木久宜	理事	平野 教康	役員	会長	佐々木久宜	S A A	梶原 和朗
〃	梅津 圭二	〃	亀井 孝	副会長	副会長	梅津 圭二	直前会長	梶原 和朗
〃	鳴海 淳郎	〃	近藤 賢司	幹事	幹事	西馬 良和		
〃	村津 忠久	〃		会計	会計	森園 伸也		

VOL. 30 - 41
2018年5月8日

第 1373 回 例 会

会報委員長 森 宗明

◆点 鐘 12:30

◆国 歌 君が代

◆R S 奉仕の理想

◆唱 歌 夏は来ぬ

◆ゲ ス ト 神 大和男様
(八幡朝見神社 禰宜)

◆出席報告 委員長 衛藤 秀子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	3 名
欠 席 数	8 名	
	出 席 率	63.64 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	75 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	5 名
	修 正 出 席 率	75 %
4/10	連 続 一 回 通 算 750 回	100 %

・メイクアップ

事前

事後

欠席 堀、梶原(和)、亀井、前田、森園、
西馬、中尾、土谷

理事会承認

出席免除 溝部、河村、平野(英)



会長の時間

会長 佐々木久宜

みなさんこんにちは。

会長の時間です。

先週は休会となっていましたので2週間ぶりの例会です。

ゴールデンウィークは楽しく過ごせましたでしょうか？

私は寝違えていまだに首が痛いという状態です。健康の大事さを実感したゴールデンウィークでした。

本日は卓話に別府RCの神 大和男さんにお越しいただきました。

お話の内容はおまかせでお願いしておりますので、卓話お楽しみにしております。

よろしくお祈りします！

次週例会は場所を変えてトキハになっておりますので、お間違えの無いようにお気を付けください。

本日もよろしくお祈りします。

幹事報告

西馬 良和

—青少年奉仕月間—

1. 本日の卓話
「神社について」別府ロータリークラブ／八幡朝見神社禰宜 神 大和男 氏
2. 本日のゲスト
神 大和男 氏
(別府ロータリークラブ／八幡朝見神社禰宜)
3. 『ロータリー適用相場変更』のお知らせ
5月1日より、全ての振込みに対する適用相場（ロータリーレート）が下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。
1ドル 108円 （4月：104円）
4. 2018～2019年度地区会員増強セミナーご案内
日 時 平成30年5月27日(日)9:50～12:45
場 所 熊本学園大学 第4号館
熊本市中央区大江2丁目5番1号
TEL 096-364-5161
対象者 次年度会長、幹事、会員増強委員長
5. 2720JapanO.K.ロータリーEクラブ創立1周年
記念式典・祝賀会のご案内
日 時 平成30年6月10日(日)
11:30 登録開始
～12:00 記念式典開始点鐘
～15:00 終了予定
会 場 ホテルザーズ
〒870-0034 大分市都町3-2-24
TEL 097-535-1000
登録料 4,000円
登録締切 5月25日(金)
6. 本日、例会終了後～例会場に於いて「第11回
定例理事・役員会」を開催いたします。



7. 例会変更のお知らせ

- 別府RC 5月11日(金)の例会は、新会員
歓迎野外家族夜例会の為、同日
18:30~両築別邸に時間変更
- 大分臨海RC 5月21日(月)の例会は、記念例
会の為、同日18:30~ホテル日航
大分オアシスタワーホテルに時間
・場所変更
- くにさきRC 5月23日(水)の例会は、夜間例
会の為、同日19:00~ホテルベイ
グランド国東に時間変更
- 大分東RC 5月24日(木)の例会は、創立55
周年記念例会の為、同日18:30~
ザブリッジに時間・場所変更
- 別府東RC 5月24日(木)の例会は、創立記念
夜例会の為、同日18:30~ホテル
サンバリーアネックスに時間変更
- 大分南RC 5月25日(金)の例会は、夜の親
睦例会の為 同日18:30~場所未
定に時間・場所変更

8. 次週例会の予定

「ゲスト卓話」

瑞木一博氏(別府東ロータリークラブ)
例会場を変更し、トキハ別府店7Fに於いて
開催いたします。

9. 本日の回覧

- ① ガバナー月信vol.11
- ② 別府市自衛隊協力会より「扇山」
- ③ 「次週例会」出・欠席
- ④ 「第10回親睦ゴルフコンペ」出・欠席

10. 本日の配布

- ① 週報No.1370,1371,1372
- ② ロータリーの友5月号

スマイルボックス 委員長 高宮 勝美

○神 大和男氏(別府RC)

卓話の謝礼をスマイルさせていただきます。

○佐々木会長

神さん、別府中央RCへようこそ。卓話楽し
みにしています。

ゴールデンウィークに首を痛めて首が回りま
せん。健康を祈願してスマイル。

○大島会員

本日ゲストの神大和男様ようこそ。先日ここで
卓話すると聞いて楽しみに来ました。頑張っ

○梅津会員

今週の日曜日は母の日です。みなさん1年間
の感謝を込めてお花を贈りましょう。

神さん、本日の卓話よろしく願いいたします。

○森会員

まだ名札があった! よかった。

○村津会員

先日29日、「昭和の日」に、私共夫婦にとっ
て6番目の曾孫になる「村津晶都」のお宮詣り
を「朝見八幡」で致しました。

元気に、健康に成長する事を祈念してスマイル。

○衛藤会員

みなさん、ゴールデンウィークは如何でした
か。今日のゲスト神様ようこそお越し下さいま
した。

卓話楽しみにしています。どうぞごゆっくり
なさって下さい。

○後藤会員

隣りにスマイル委員長が座っています。しか
たないですネ!



卓 話

「神社について」

神 大和男氏 (別府RC)



本日は別府中央ロータリークラブのゲスト卓話にお招きくださいませありがとうございます。

今回は神社の仕事内容及び地域社会に於ける神社の役割についてお話をさせていただきます。

まずは私の略歴を簡単にお話致します。私は昭和五十一年にここ別府市で生まれ、小学校は数年前に閉校してしまいました別府市立西小学校を卒業、中学校・高等学校は大分市にある中高一貫の岩田学園に進学、そして大学は東京都渋谷区の國學院大學文学部神道学科に進学し、ここで神職の資格を取得しました。卒業後は京都府八幡市の石清水八幡宮にて働いた後に地元八幡朝見神社に戻ってまいりました。

それではこれから卓話に入りますがまず前置きとしまして、神社の話というものは諸説ある事が殆どでして、中には私の話が自身の知ってる内容と違う、という事もあるかもしれませんが、それをご承知おきください。

扱、まずは当社の歴史についてですが、大まかに説明しますと、建久七年、西暦一一九六年に豊後の守護職の大友能直公が鎌倉幕府の鎮守、鶴岡八幡宮の御勧請を志し、現在の乙原の地に創建しました。その後、鶴見山の噴火の際に現在の朝見の地にお遷しして現在に至ります。詳しくはパンフレットをご覧ください。

神社の職員は神社によっても異なりますが、大まかに神職の資格を有する「神主」と未婚の若い女性の「巫女」、あとは掃除や営繕専用の方がいたり、近年では大きな神社になると結婚式専門の方がいたり経理専門の方がいたりする事もあります。

ここで神職について説明します。神職になるには神社本庁という機関が定める資格を取得する必

要があります。神社本庁とは全国の神社を統括する機関で、国内の多くの神社が本庁傘下に属しています。本庁傘下の神社で神職として奉仕するにはこの資格が必要となります。階位は五段階でして、上から浄階・明階・正階・権正階・直階となります。これは神職の基本的な心構えである「浄く、明るく、正しく、直く」が由来です。では、どうやって資格を取得するのかというと、基本的には神職系の学校を卒業するか必要な講習を受けるかになります。学校は大学と専門学校のような養成機関があり、大学は東京都渋谷区の國學院大學と三重県伊勢市の皇學館大學があり、ここで神職過程を履修すると卒業と同時に明階か正階が取得できます。養成機関は全国に数カ所あり、殆どが二年間の全寮制で、ここを卒業すると正階か権正階が取得できます。講習を受講して資格を手に入れるにはまず各県にあります神社庁に申し込み、庁長の許可を得て約三〇日間の講習を受けます。庁長の許可が必要ですので誰でも簡単に資格を取得できない事になっています。三〇日間は日曜日などに途中休みもありますが連続三〇日となります。最初は直階を取得する講習しか受講出来ません。更に上の階位を取得するにはその都度講習を受講しなければならないので神社の跡継ぎの方などは学校を卒業するのが一般的です。また、浄階は長年神職として神明奉仕に貢献した方しかもらえません。

この階位とは別に神職身分というのもあります。わかりやすく説明しますと、階位プラス奉職年数で身分が決まります。一番下の身分ですと袴の色は白、それから水色・紫色と昇給する毎に色が変わり、紫より上になると紫の中に紋が入ります。年数は単純に数字だけでなく、講習を何日受講したのか、神社庁の役職をしているか、専業か兼業か、民社か別表神社か、なども加味されます。別表神社とは本庁が定める特に大きな神社の事で、大分県内には宇佐神宮・大分縣護國神社・春日神社・西寒多神社・柞原八幡宮、そして八幡朝見神社の六社です。あと神社内の役職があり、宮司・権宮司・禰宜・権禰宜・出仕となります。会社の役職のようなもので、宮司とはその神社の



最高責任者、つまり一般企業で言う社長です。なので一社に宮司は一人しかいません。よく神主イコール宮司と認識している方もいますが、若い権禰宜や出仕クラスを宮司と呼ぶとヒラ社員に社長と呼んでるようなものですので覚えておくといいと思います。また、権宮司は一般的に神職十名以上の神社にしか置いていない事が殆どです。ですので、例えば私の場合、階位は明階、神職身分は紫色の二級、八幡朝見神社での役職は禰宜となります。

神社の仕事内容ですが、基本的には「神様の衣食住のお世話」と「地域に根差した奉仕活動」と「神道教化」の三つが主な内容となります。ですので神様の衣食住のお世話として社殿や境内の清掃は最も基本的な仕事であり、必ず毎日清掃しています。また、例大祭や温泉祭などの神事も神様への大事な行事と言えます。

具体的な実務としては、普段は地鎮祭や神前結婚式といった大きな祈願から厄除や初宮詣、交通安全などの諸祈願をしたり、お守りやお札を授与したりしています。また、各神社にとって最も大切な祭典を例大祭と言います。これはそれぞれの神社にとって最もゆかりのある一日に行われまして、当社では御鎮座された日である十月十九日に行われます。当社の大祭は三月一五日の初卯大祭、十月十九日の例大祭、十一月二十三日の新嘗祭です。また温泉祭や夏越献灯祭は大祭ではありませんが、この期間は例大祭や並みに忙しい時期となります。個人的には正月・温泉祭・七五三の順に忙しい気がしています。

また現在私が担当している仕事としては職員の休みや当直、或いは神事の担当を決める庶務、神道青年会の諸行事、授与品の管理や業者の対応、アルバイトの対応、神前挙式の対応、境内の自動販売機の対応です。お守りなどの授与品は昔ながらのものももちろん大切にしますが、一方で如何にして興味をひいてもらえるか、を常に追求しています。やはりこの不景気の中で業績を伸ばすには何かを仕掛けていかなければ伸びませんし、他所にはない特色を出していく必要があると思います。どんなに不景気でも、またどんなに人口が減っ

ていても時代に則った努力をしている所は業績が伸びているのもまた事実です。ただ難しいのは神社は企業ではなく宗教施設である事です。決して商売に走らず、あくまでも奉仕活動の中でしていかなければならないというのは一経営者として税金がかからないなどの助かる一面もありますが利益のみの追求はできないという厳しい一面もあります。

さて、次に私の職業と社会奉仕の関連性ですが、神社は地域に根差した奉仕活動が非常に大切になります。つい先日行われた温泉祭などもそうですが、地域の方々との密な関係を築いていなければ神社の運営はうまくいきません。例えばお神輿を出す際、地元の方々担当となりその地区を巡回します。この担当手が不足していたらお神輿を出すどころではありません。また、様々な行事をする際、地域の方々の寄付金で行事が執り行われる事も多く、こういった面でも地域の方々の協力が必要となります。お神輿の担当手の多くの方の協力を得る為に何が必要か、寄付金を集める為に何が必要か、それは普段からの地域の方々との交流であったり地元根付く神社として地元の心の拠り所である事、そしてその為には神職一人一人の人間力が大切です。

よく昔は神社や寺などで遊んだものだ、などという事をご年配の方から伺います。神社の大小に関わらず、元来は神社とはそういった一面もありました。現在では家庭用ゲーム機やスマホなどの発達、或いはニュースなどで子供が身勝手な事件に巻き込まれる事も少なくなく、子供が外で遊ぶ事自体少なくなりました。また昔は集会などでは神社に集まる事も多かったのですが、公民館が出来てからそのような機会も減ってしまい、現在では地域の集会すら減ってしまっているのが現状です。しかしそんな中で子供にとって地元の思い出の場所であったり、初詣で必ず訪れた場所として記憶に残ってもらえる事も地域に於ける神社の役割です。

また、現在は御朱印ブームもあり、特に若い女性を中心に参拝者が増えています。御朱印を通じてこれまで正月以外神社に来る事のなかった年齢層が来社するようになったのはとてもいい事だと



言えます。しかし一方で御朱印集めのためだけに神社を巡る方も少なくありません。御朱印スタンプラリー感覚で集め、一番大切な敬神の念がないのでは本末転倒ですし、またブームにより流行ると必ず出てくるのがマナーの悪い方です。御朱印の書き方を指示してきたり、非常に忙しい時期や非常識な時間帯に御朱印を書いてもらおうとする方が最近増えており、今後の大きな課題と言えます。ただ取っ掛かりはスタンプラリー感覚だとしても神社に興味を持ったり神社に足を運んだりするいいきっかけになれば最初はそれでいいとは思いますが。そのうちにマナーなどを知っていってもらえたら、と思います。

それから地域に根差した活動の一環として、また神道教化活動として、主に正月ですが地元の高中生や大学生を中心に助勤、所謂アルバイトという形で神社奉仕をしてもらっています。毎年男性は約十名、女性は約五十名を雇いますが、近年は学校の方針などがかつてと異なり、雇う際にもかなりの制限があったりします。神社側としましては減多に出来ない貴重な社会奉仕・地域奉仕であると考えていますが、学校側や保護者側が単なるアルバイトの一種としてしか捉えなくなっているのは悲しい現実であります。

また、近年は神社も国際的な色合いも出てきました。現在、外国人観光客が訪問前に期待していた事の上位の一つに「日本の歴史・伝統文化体験」があります。神社によっては丁寧に価値を伝える体験をさせる所もあります。現在、外国人に人気の観光スポット第一位は三年連続で京都の伏見稲荷大社です。やはり鳥居など、視覚的なわかりやすさは大きな強みです。

それから近年はSNSの発展もあり、神社に興味を持つ外国人が増加傾向にあります。当社もAPUという国際色濃い大学が地元にありますので、「五ヶ国語みくじ」を作成するなど、海外の方にも神社を親しんでもらえる努力をしています。また、当社でも昨年よりインスタグラムを始めました。温故知新の言葉の通り、時代に沿った活動も展開していく事が必要不可欠であると言え

ます。今後も国際的な意味も含めて神社がどのようにして地域に根差していくのか、時代の流れなども考慮しながら日々活動していきたいと思えます。

これだけ時代が進化し、情報社会と化している現代に於いて、神社が果すべき役割とは何か。地域の方は一体神社に何を求めているのか。それは精神的な支えや安らぎを求める場所であったり、地元の思い出の場所であったり様々ではあります。大切なのは地元の方がどういった思いで足を運んでいるのかを常に考える姿勢です。例えばお正月は多くの方々が訪れますが、近年は年末に一年を振り返った時にいい一年だったという方もいればあまりいい年ではなかったという方もいます。個人の感覚もそうですが、我が国も近年は非常に暗い事件が多いのが現状です。しかしそれでもお正月には今年はいいい年でありますように、と願いながら新年を迎えます。その新年の最初に訪れる場所が神社なのです。ぜひ笑顔で帰ってもらえるように対応したいです。それからどうしても地域の方との繋がりを軽視出来ません。わかりやすいのが神輿などが出る地元のお祭りです。どんなに人口の多い大都市にある神社でもお祀りがあまり盛り上がっていない地域は活気がありませんし、小さな神社でもお祭りでは地元が賑わう地域は活気があります。皆様にも故郷の誇りとしてぜひ地元のお祭りを盛り上げていただきたいと思えます。その一方で観光スポットとして参拝者が増える努力も必要です。これからの時代、ここ観光都市・別府に鎮座する神社として何をしていくべきなのか、何が求められているのか、地域と密着しつつも観光地としての役割も果たす必要があります。近年では温泉マークを模様にした運氣上昇御守を出したり、温泉祭の期間中の限定の御朱印をしたりと当社なりに温泉地をアピールしています。これからも神社の果すべき役割を考えながら神明奉仕していく所存です。

本日はご清聴ありがとうございます。